

野菜党プロジェクトについて

1. これからの企業の在り方

FOODEST,co,Ltd



“

私たちは未来に何を残してい
くのか??

その為に何を創っていくの
か??



30年『食』に携わり感じたこと

- モノが溢れ、簡単に『食』が手に入り、時代に合わせ『美味しい』の価値基準が変わっている
- 『食』そのものを手軽に済ませる、忙しい時代になってきている
- 『食』を楽しむ、食べる喜び、作る楽しみ、もてなす喜び、健全なところと身体をつくる栄養源としての一番の源のはず

地球環境の変化と共に、今一度『食』の **原理原則を見返す時期**なのではないか？

The background features a hand holding a glowing globe of the Earth. Surrounding the globe are various circular icons connected by lines, representing different aspects of sustainability: a sun, a wind turbine, an oil rig, solar panels, a corn cob, a leaf, a recycling symbol, a rocket, and a planet with rings. The scene is set against a blurred background of green foliage.

安心な『食』の循環を創る

未来の子供たちへ安心して暮らせる環境を創る為、未来の地球の為、安心な『食』を守っていく。





2.

人財開発、育成について

FOODEST,co,Ltd



人それぞれに良い所(強み)がある

人の(欠点)短所を観るのではなく、(良い所)長所を更に伸ばしていく。
多様性を認め、その人の能力を最大限活性させていく。(インクルージョンマネジメント)

三人称の視点で社会にどの様にお役立ちができるか

個人の強みを更に活性して、社会にお役立ちが出来る人財に育てる。
地域、社会に貢献できる人財に育てる企業文化とイノベーションが重要である。

農業の魅力発信 新規就農者応援プロジェクト

～企業、学校、行政と連携し、地方農業をPR～

*NEO_FARMERS
YELL PROJECT*

地方農業
応援プロジェクト





カホアルペ 体験農場 プロジェクト

提案作成：
有限会社フーデスト

有限会社フーデスト

プロジェクト 提案書

当社について

豚骨ラーメン専門の『かほラーメン』を運営しているが、昨今の健康需要に応える為に『野菜党ラーメン』の販売に注力している。コロナ禍の煽りを受け、新規販売チャネルの構築や六次産業化を目指している。今後は地域一体となって嘉麻市を盛り上げ地方創生の一助になれるべく活動の場を広げていく。

有限会社フーデスト
電話番号：(0948)65-5224
福岡県嘉穂郡桂川町吉隈205-7

HP <http://foodest-inc.jp/>

プロジェクト

- 体験農場の管理
- カホアルペを活用した農泊体験イベント
- 嘉麻市産食材での調理教室
- 収穫野菜での食育教室

プロジェクトのねらい

嘉麻市近郊の都市より車で1時間程度の観光客の取り込み（マイクロツーリズムの需要喚起）農業に興味をもっている方へのアプローチの手段として、農業に関心を持つ人たちに嘉麻市への農業移住を目指している。

プロジェクトの流れ

01

コンセプト
農場施設管理業務の把握
スケジュールリング

02

イベント
イベント開催に伴う問題点の
抽出と解決方法

03

イベント開催
イベント告知
集客と内容の精査
アフターフォロー

01

コンセプト 農場施設管理業務の把握 スケジューリング

農場施設管理業務の把握

カホアルペ周辺の農地を活用する
現使用者の島中氏の協力の下、用地の区画整理を行う。

スケジューリング

農地の選定と開墾を9月上旬までに行い
10月上旬より種まき苗植えなどのイベントを開催する。
当初は3~4種類の野菜で秋~春に収穫できるようなスケジュールを組んでいく。



02

イベント イベント開催に伴う問題点の 抽出と解決方法

イベント開催に於ける問題点

3密を防ぎ接触の機会を作らないことが最大の課題。
イベントの周知徹底と集客方法。

問題点の解決方法

農作業は屋外での作業なので密は防げる。最大人数を20名、1家族4~5名。調理、食事の際は常時換気を行い間隔を開け3密を防ぐ。
HP,SNSや店頭での集客を行う。特に『野菜党小倉店』のアカウントからの集客を見込む。



03

イベント開催 イベント内容の精査 アフターフォロー

イベント内容の精査

農業体験を通して食の豊かさを感じてもらおう。
種まきから、収穫までの一連の流れを通して農業の疑似体験を行う。また当社にしか出来ない調理方法で野菜だけで造った『ラーメン』を食べることで食の在り方を学ぶ機会とする。

アフターフォロー

参加者には必ずアンケートを書いてもらい次の機会に繋げる。
アンケートを促す為にイベント中のレシピや動画、画像などを提供する。



3.

新時代へのビジネスモデル

FOODEST,co,Ltd

野菜党プロジェクトの
ビジネスモデル

野菜党ラーメン
プロジェクト

循環型農業
六次産業化

地方農業応援プロ
ジェクト
新規就農者支援

Product innovation

Open innovation

Regional innovation

DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



野菜党プロジェクト
フレームワーク

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

野菜党は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



8 革新の
ちからを
つなごう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



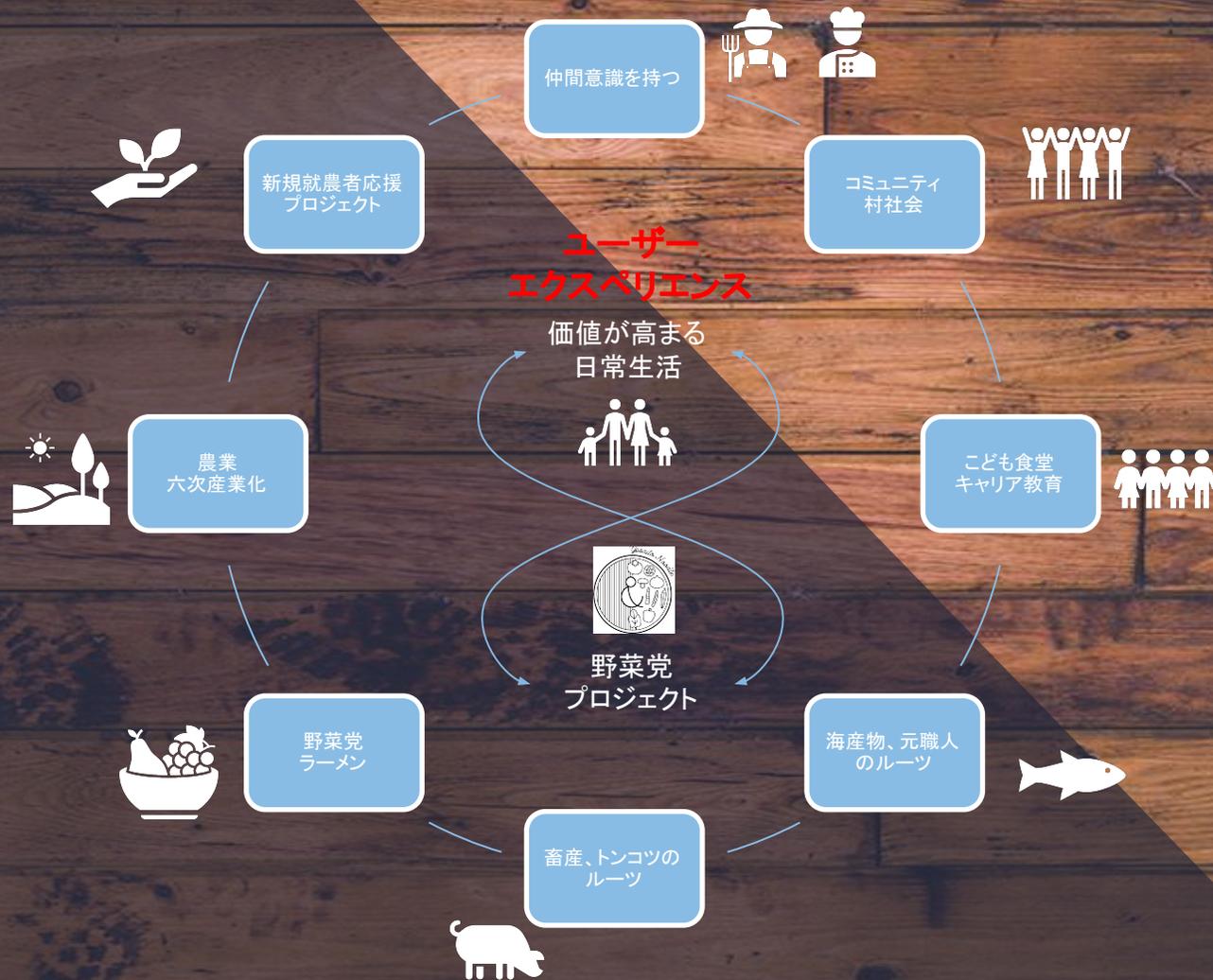
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が共通した

野菜党プロジェクトの 目指すところ

『こころ豊かな食文化を満たす』

食の在り方を広く伝える
ことで、野菜党PJに
関わる様々な環境が
循環してCOMMONS
文化を醸成する。
野菜党ユーザーと地域を繋
げユーザーの価値体験を通
じて、野菜党PJは成長し続
ける



日本の食文化と
野菜党を世界に発信することで



お互いが認めあえる世界を創っていく!!

A portrait of a middle-aged man with a friendly smile, wearing a dark grey chef's jacket with red piping. The background is a light-colored wall with a subtle floral pattern. A dark blue diagonal overlay covers the left side of the image, containing white text.

ありがとうございました

有限会社フーデスト

代表取締役 砂田裕一